

整備効果3 産業の活性化

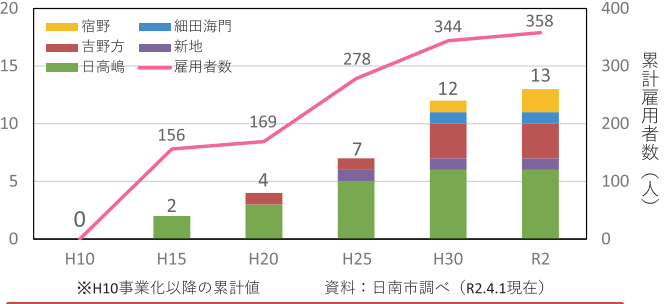
企業誘致や雇用創出を支援します！

平成10年以降日南市に新たに13社が進出し、360名の雇用が創出されており、今後、更なる企業進出や雇用創出が期待されます。

東九州自動車道沿線地域の工業団地等の位置図



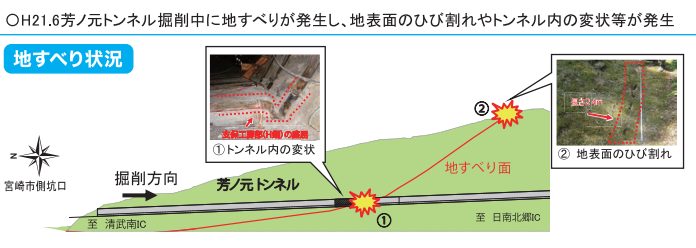
工業団地の企業立地件数と雇用者数の推移



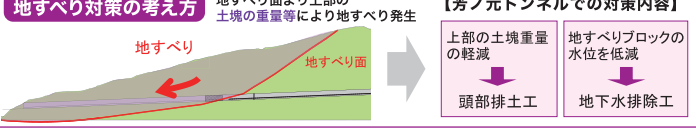
吉野方工業団地

- ・H30.7運送業者が企業進出
- ・新規雇用者予定20名
- ・総面積16千㎡のうち2千㎡が運送業者進出分譲中(R1.12時点)

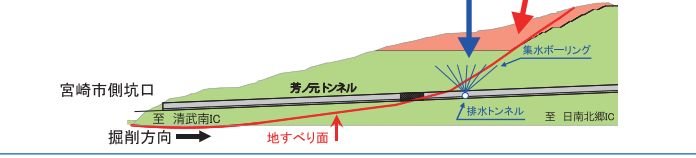
芳ノ元トンネル周辺の地すべり対策等



芳ノ元トンネル周辺の地すべり対策等



実施中の地すべり対策



頭部排水の進捗状況



対策等による安全性の判定の指標と現状

- ①地すべり変位 → 地すべり変位が収束傾向にあります
- ②トンネル覆工の変状 → トンネル内空と天端沈下の変位が見られません
- ③地下水位の変化 → 過去を大きく上回る水位上昇がありません

東九州自動車道(清武～北郷)トンネル施工検討会の概要

1. 検討事項

2. 開催経緯

3. 委員

委員長 宮崎大 名誉教授

委員 一般社団法人日本建設機械施工協会 施工技術総合研究所 所長

国立研究開発法人土庫研究所 道路技術研究グループ トンネルチーム 上席研究員

国立研究開発法人土庫研究所 土砂管理研究グループ 地すべりチーム 上席研究員

国土交通省 国土技術政策総合研究所 道路構造研究所 構造・基礎研究室 室長

事務局 国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所等

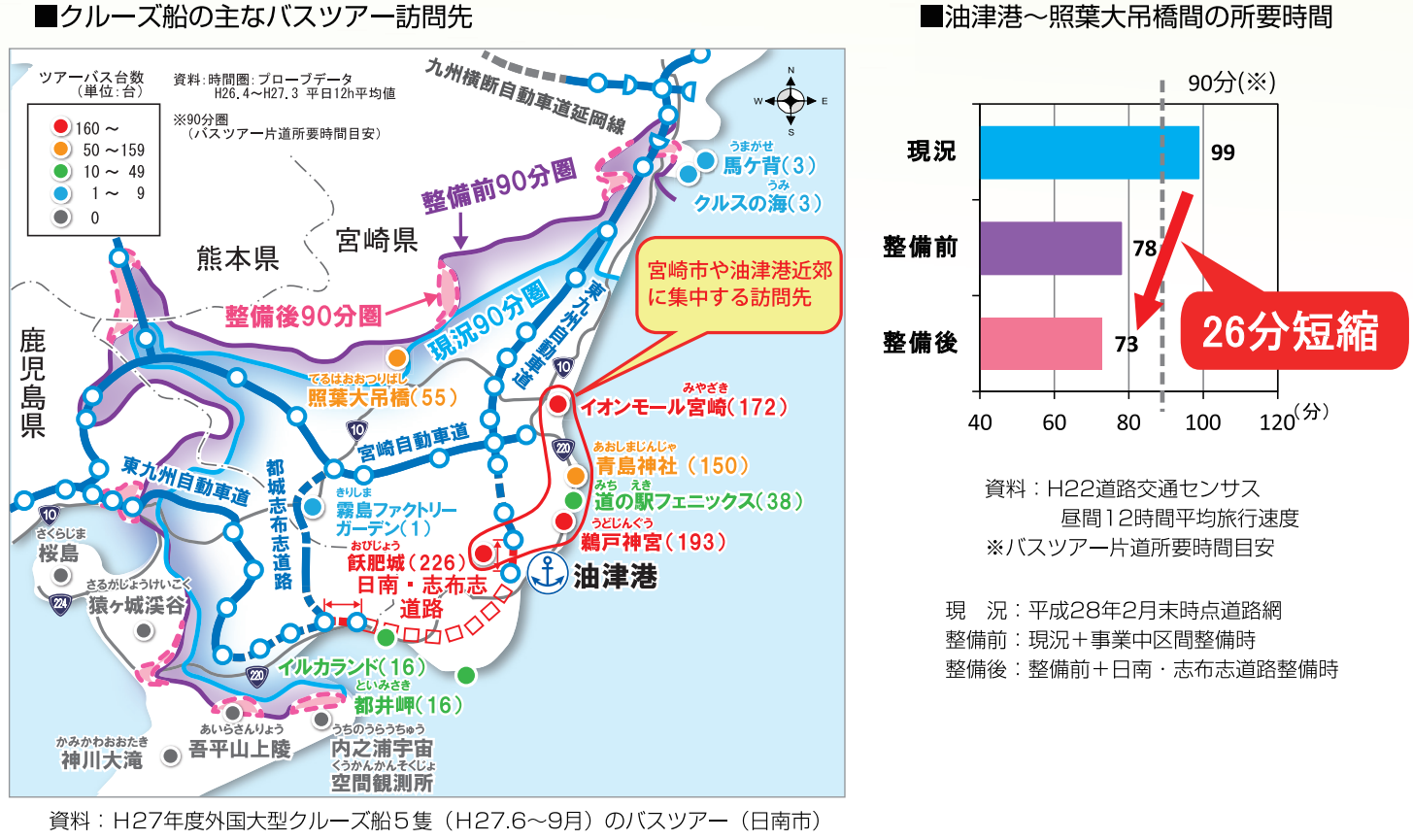
※後援は、令和元年8月時点。上記の趣旨がバーナーも検討会には参加

一般国道220号 日南・志布志道路の整備に伴う効果について (平成27年度 第2回 社会資本整備審議会 道路分科会 九州地方小委員会資料より)

整備効果 周遊観光の実現

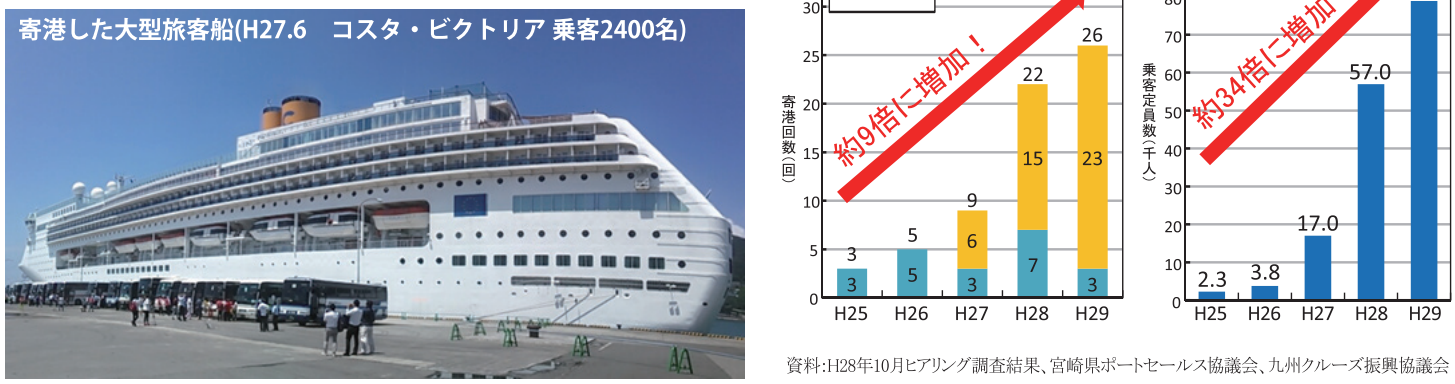
広域観光周遊ルートの形成

油津港から周辺観光地への速達性・周遊性向上により、広域に渡る新たな観光周遊ルートが形成され、観光振興による地域経済の活性化が期待されます。



クルーズ船寄港による高い経済効果

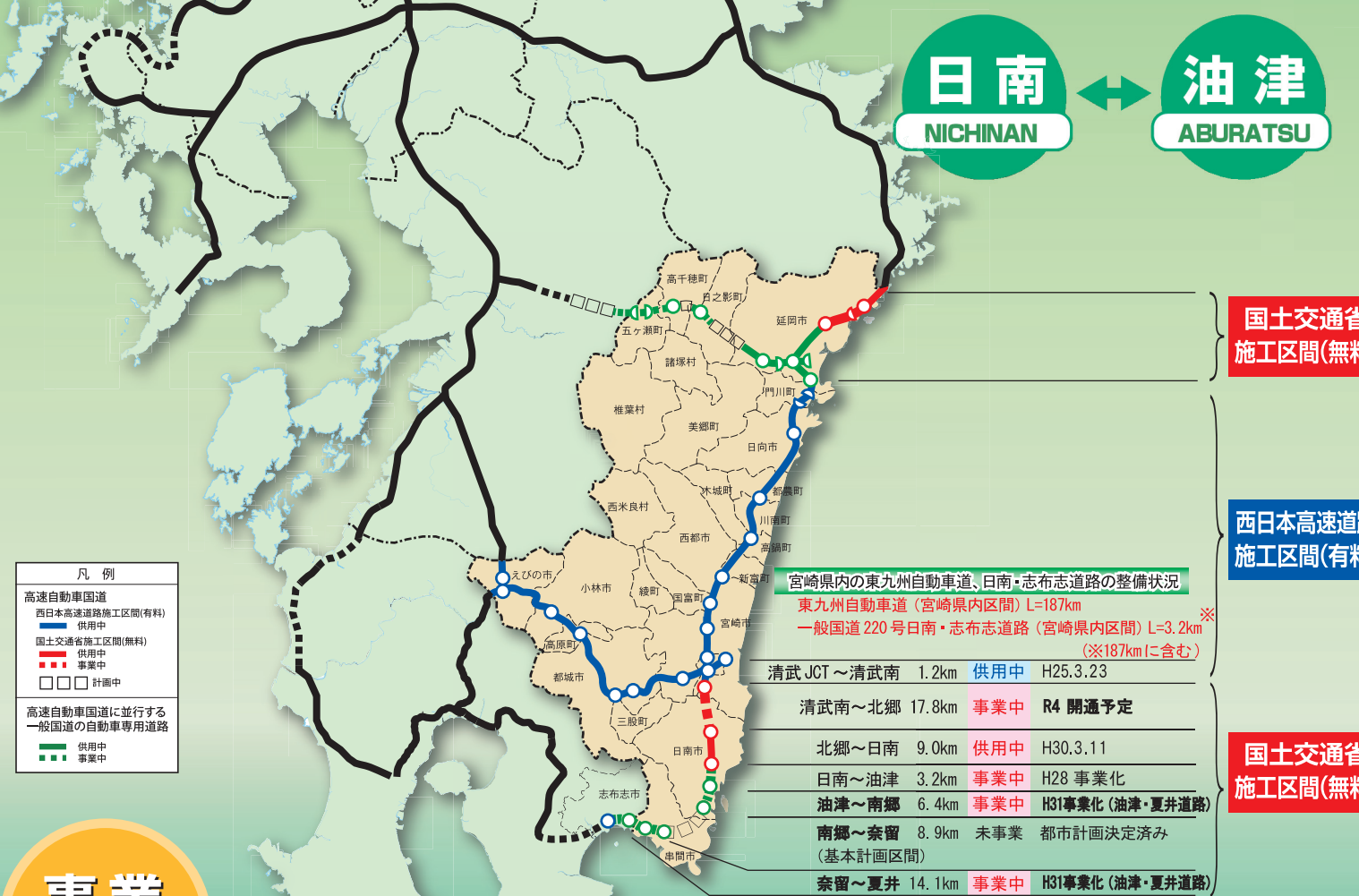
・H27年6月～8月に寄港した4回分の外国クルーズ船による消費額 (市内外での買物、バス、タクシーなどの交通経費、観光施設入場料など)は、約1億6400万円【約4000万円/回】 (日南市調査)



国土交通省九州地方整備局 宮崎河川国道事務所 〒880-8523 宮崎大工2丁目39 TEL(0985)24-8221(代) http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/ E-Mail qsr-miyazaki@mlit.go.jp

東九州自動車道

一般国道220号 日南・志布志道路 (東九州自動車道)



事業概要

東九州自動車道は、北九州市を起点に大分県、宮崎県を経て鹿児島市に至る延長436kmの高速自動車国道です。東九州自動車道の清武～日南間及び一般国道220号(東九州自動車道)日南・志布志道路の日南～油津間は、宮崎市、日南市の2市を通過する延長約31kmの区間であり、一体となって東九州自動車道の高速ネットワークの一部を形成するものです。これら路線が整備されることにより、宮崎南部地域と北部地域が結ばれ、地域のさらなる発展や輸送コストの低減等の効果が期待されます。

国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所

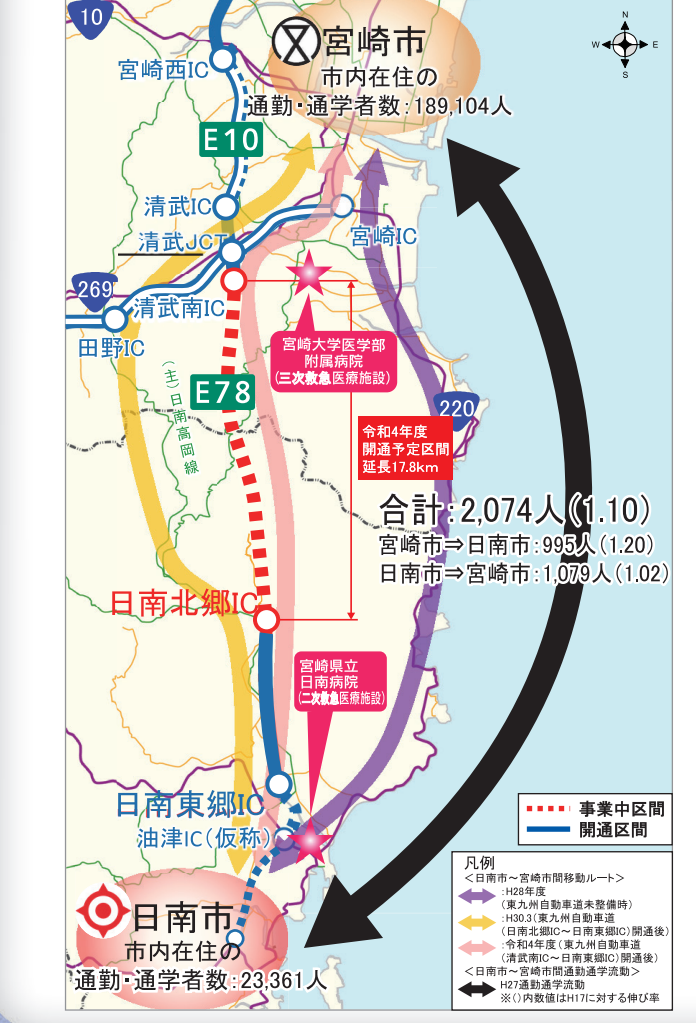
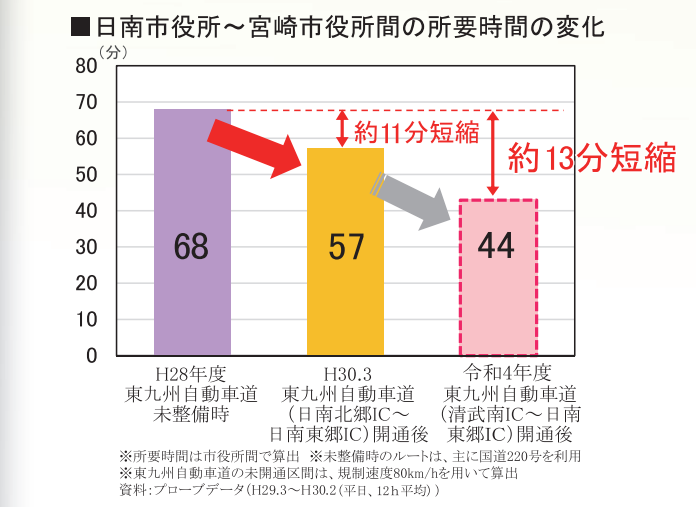
豊かな生活と産業を支援し だれもが安心して暮らせる地域をめざして

東九州自動車道(清武～日南)の整備に伴う効果について (令和元年12月20日東九州自動車道(清武南IC～日南北郷IC)の開通記者発表資料より ※日南東郷IC～油津ICの事業効果は含んでいない)

整備効果1 より早く

日南市～宮崎市間の所要時間が短縮します!

宮崎→日南間が68分→44分に短縮されます。



整備効果2 より安全に

災害時には信頼性の高い代替路として機能します!

災害時の通行止めの回避や輸送ルートの確保が図られ、平常時・災害時を問わない安定的な輸送を確保するための道路ネットワークが構築されます。





